

平成29年度入学者 教育課程表 環境建設工学科（社会デザインコース）※網掛けはクオーター科目を表す。

分類	必修	科 目 名	単位数	週 授 楽 時 数												備 考	
				1年		2年		3年		4年							
				前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後		
		○ 新入生セミナーA	2	2	2												
初年次科目	英語	○ 新入生セミナーB	2	2	2												
		○ こころと健康	2	2	2												
		○ スポーツ	1		2	2											
		小 計	7	6	6	2	2										
	基礎科目	○ 英語I	1	4													
		○ 英語II	1		4												
		○ 英語III	1		4												
		○ 英語IV	1			4											
		○ 基礎微積分		4	4											どちらかを履修 微積分I：土木工学コース合同	
		○ 微積分I			4	4											
		○ 基礎線形代数		2	2											どちらかを履修 線形代数I：土木工学コース合同	
		○ 線形代数I			2	2											
		○ 愛媛学	1		2												
		○ 社会力入門	1			2											
共通教育科目	教養科目	○ 情報リテラシー入門I	1	2													
		○ 情報リテラシー入門II	1	2													
		○ 日本語リテラシー入門	1		2												
		小 計	15	12	12	8	6										
		○ 選択必修型		4				2	2	2	2						
		○ 総合分野															
		○ 人文学分野		7	4	4	4	2	4	4	4						
		○ 社会科学分野															
		○ 自然科学分野															
		○ 初修外国語				4	4	4	4								
専門教育科目	専門基礎科目	○ 文系主題科目															
		○ 理系主題科目															
		小 計	15	8	8	8	10	6	6								
		○ 力学I	2	2	2											2クラス開講 土木工学コース合同	
		○ 力学II	2		2	2										2クラス開講 土木工学コース合同	
		○ 国土形成史	2		2	2											
		○ 地球環境学	2			4											
		○ 社会資本の整備と運用	2								4						
		○ 確率・統計	2					4									
		○ 構造力学I 及び同演習	2				6									演習2クラス開講	
		○ 水理学I 及び同演習	2					6								演習2クラス開講	
		○ 土質力学I 及び同演習	2				3	3								演習2クラス開講	
		○ 技術英語I	2			2	2										
		○ 技術英語II	2				2	2									
		○ 建設材料学	2			4											
		○ 土木計画学及び同演習	2				3	3									
		○ 建設倫理	2					2	2								
		○ 住民参加と合意形成	2					4									
		○ 環境建設デザイン演習	2					4	4								
		○ 環境建設プロジェクト実習	1								3	3					
		○ 地域社会プロジェクト実習I	2		4	4											
		○ 地域社会プロジェクト実習II	2					4	4								
		○ 環境建設工学基礎実習I	2	3	3	3	3									通年開講	
		○ 実践英語演習I	2	1.5	1.5	1.5	1.5									4クラス開講・通年開講	
		○ ランドスケープデザイン	2							2	2						
		○ 卒業論文	6														
		小 計	49	6.5	6.5	12.5	16.5	11	19	9	13	12	8	3	3		

分 類	必 修	科 目 名	単 位 数	週 授 業 時 数								備 考	
				1年		2年		3年		4年			
				前	後	前	後	前	後	前	後		
専 門 教 育 科 目	専 門 科 目 選 択 科 目	微分方程式	2			4						2クラス開講	
		数理解析学	2			4							
		測量学	2			2	2						
		測量学実習	1					3	3				
		地球科学	2					4					
		情報処理・数値計算法	2					4					
		構造力学II及び同演習	2					6				2クラス開講	
		土質力学II及び同演習	2					3	3				
		水理学II及び同演習	2					6					
		生態学	2					4					
		国際化と国土のグランドデザイン	2					4					
		観光まちづくり論	2					2	2			法文学部開講科目	
		コンクリート構造設計	2						4				
		振動・地震工学	2						4				
		橋梁工学演習	2						4	4			
		地盤・基礎工学	2						4				
		河川工学	2						4				
		海岸工学	2						4				
		交通計画	2						4				
		流域環境工学	2							4			
		実践英語演習II	2						1.5	1.5	1.5	通年開講	
		環境建設工学実験I	1						2	2			
		環境建設工学実験II	1							2	2		
		社会心理学	2							4			
		構造解析学	2							4			
		防災工学	2							4			
		生態系保全工学	2							4			
		海洋物理学	2						2	2			
		都市・地域計画	2							4			
		都市の環境問題	2							4			
		国土整備と関連法	2							2	2		
		工場管理	2							2	2		
		産業経済論	2							2	2		
		技術マネジメント	2							2	2		
		知的財産権	2								2	2	
		環境建設工学基礎実習II	2			3	3	3	3			通年開講	
		環境建設工学基礎実習III	2						3	3	3	通年開講	
		技術学外実習	2						3	3		(夏季休業中)	
小 計			73			13	5	25	25	27.5	31.5	26.5	
総 計			159	32.5	32.5	30.5	34.5	30	30	34	38	39.5	

- 注1 他学部・他学科の専門科目及び専門基礎科目（実験、実習、製図を除く）を環境建設工学科長及び当該授業担当教員の承認を得て、専門科目の選択科目として履修できる。
- 注2 共通教育科目的基礎科目的数学（微積分IIおよび線形代数II、いずれも本学科対象）を履修した場合は、専門科目の選択科目に含めることができる。
- 注3 「5大学工学部等間単位互換に関する覚書」及び「中国・四国国立大学工学系学部相互間における単位互換に関する協定」に基づき修得した科目は、注1に記載されている「他学部・他学科の専門科目」の中に含めることができる。
- 注4 「放送大学の科目」を環境建設工学科長の承認を得て、教養科目の学問分野別科目（分野は学科長が定める）として履修できる。なお、工学に関連する科目（学科長が定める）は、4単位まで注1に記載されている「他学部・他学科の専門科目」の中に含めることができる。
- 注5 教育職員免許状を取得しようとする者は、別に定める科目を修得しなければならない（「教育職員免許状取得のための履修案内」参照、93～95頁）。

<注1～注4>により修得した単位のうち、卒業要件および卒業論文履修要件とすることができる単位数の上限

	社会デザインコース	土木工学コース
他学部・他学科の専門科目及び専門基礎科目 共通教育科目的理系基礎科目 (社会デザインコースのみ) 5大学工学部 中国四国国立大学 放送大学の工学に関連する科目	専門科目の選択科目として10単位 (うち放送大学は最大4単位)	専門科目の選択科目として4単位
放送大学の教養科目	教養科目の学問分野別科目として4単位	教養科目の学問分野別科目として4単位
計	14単位まで	8単位まで

卒業要件

- 初年次科目……必修7単位を含む7単位以上
 基礎科目……必修15単位を含む15単位以上
 教養科目……15単位以上。ただし、主題探究型科目4単位、学問分野別科目7単位を含む。
 専門科目……89単位以上。ただし、必修49単位を含む。
 合計……126単位以上を修得しておくこと。

卒業論文履修要件

卒業論文を履修するには、3年次後学期終了までに下記のとおり単位を修得しなければならない。

- 初年次科目……必修7単位を含む7単位以上
 基礎科目……必修15単位を含む15単位以上
 教養科目……15単位以上。ただし、主題探究型科目4単位、学問分野別科目7単位を含む。
 専門科目……71単位以上。ただし、必修36単位を含む。

(注) 上記の条件を満たさない場合でも、学科において特別の事情があると認めるとときには、卒業論文を履修させることがある。

コース変更は原則として、認めない。